

貸付事業（一般勘定）におけるリスク

○ 当機構は、銀行法が適用される法人ではありませんが、民間金融機関における開示基準を参考に、リスク管理債権を開示しております。

令和4年度 残高と平均利回り

運用サイド（貸付金）		調達サイド（借入金・債券）	
福祉貸付	26,189億円（0.70%）	財投	48,782億円（0.50%）
医療貸付	27,139億円（0.53%）	債券	2,300億円（0.60%）
		その他	367億円（※）
計	53,328億円（0.61%）	計	51,449億円（0.50%）
デュレーション	8.66	デュレーション	8.60

令和4年度 平均残余年数

運用サイド（貸付金）		調達サイド（借入金・債券）	
福祉貸付	17.33年	財投	16.32年
医療貸付	15.18年	債券	4.84年
計	16.24年	計	15.81年

令和4年度末 リスク管理債権

区 分	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	256億円
危険債権	289億円
三月以上延滞債権	13億円
貸出条件緩和債権	2,008億円
合計(a)	2,566億円
正常債権(b)	50,787億円
合計(c)=(a)+(b)	53,353億円
リスク管理債権比率(a/c)	4.81%

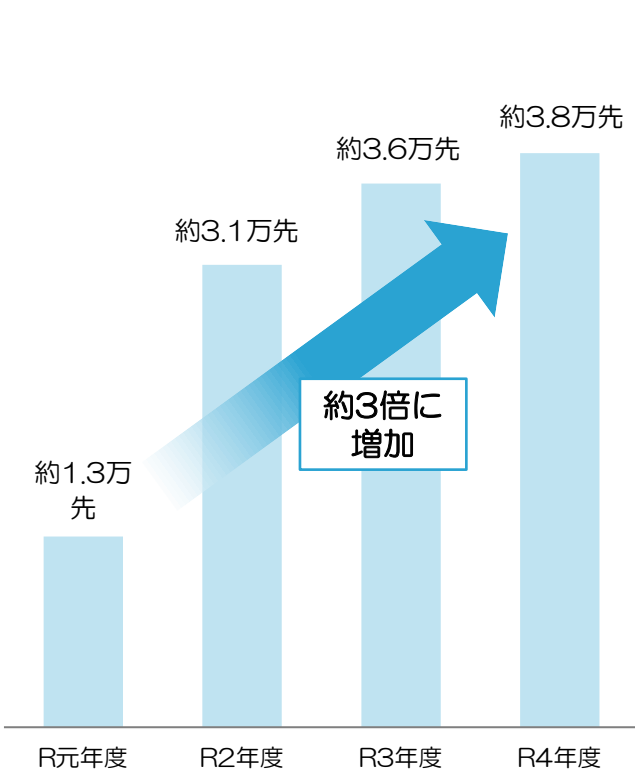
（注）億円未満を切り捨てていますので、合計とは端数において合致しないものがあります。

（※）「その他」には、貸付受入金相当額を計上しています。

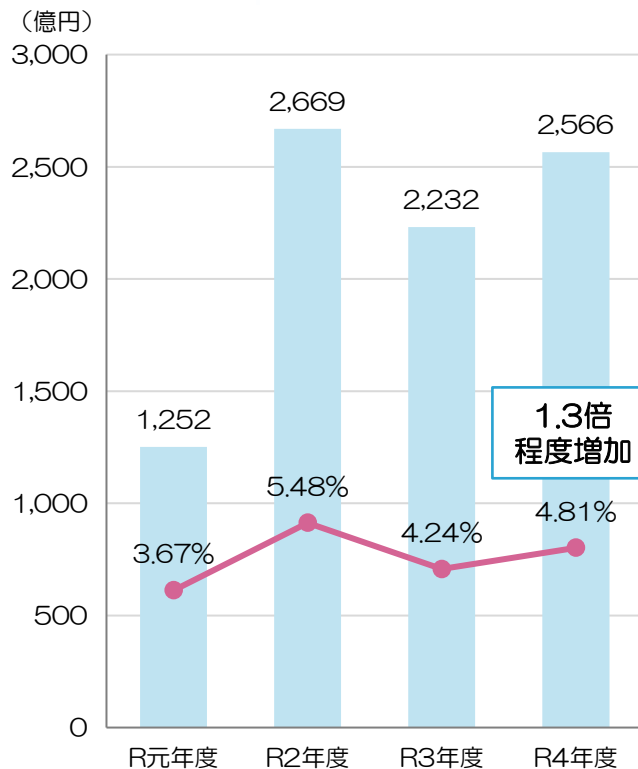
貸付事業に係る与信関係（一般勘定）

○コロナ資金により貸付先（件数）が約3倍に（R1→R4）
 ○コロナ資金の増加に伴い、リスク管理債権が倍増する一方リスク管理債権比率は1.3倍程度。
 ○R4末貸倒引当金は756億円（前年度比+254億円）と増加するもコロナ融資に伴う政府出資金は1,388億円となっており財務の健全性は確保。

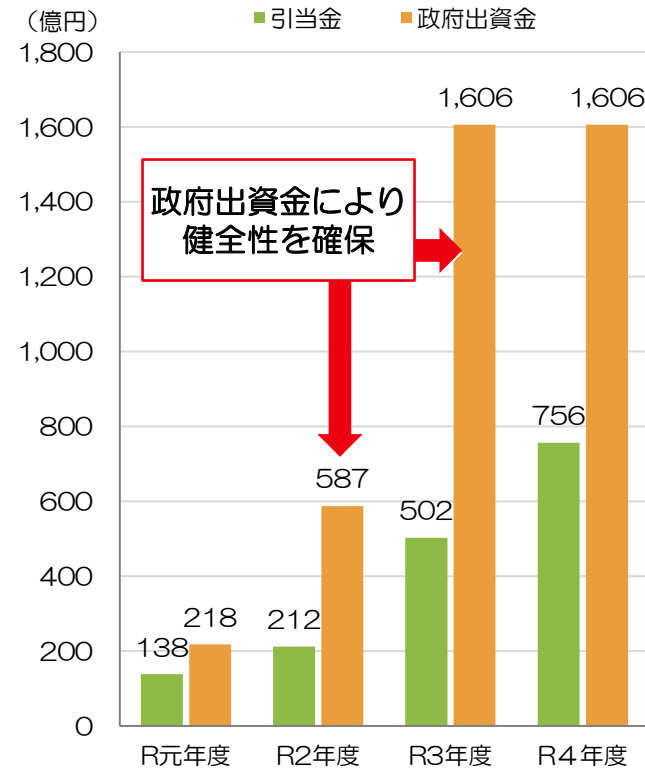
貸付先の推移



リスク管理債権額・比率の推移※



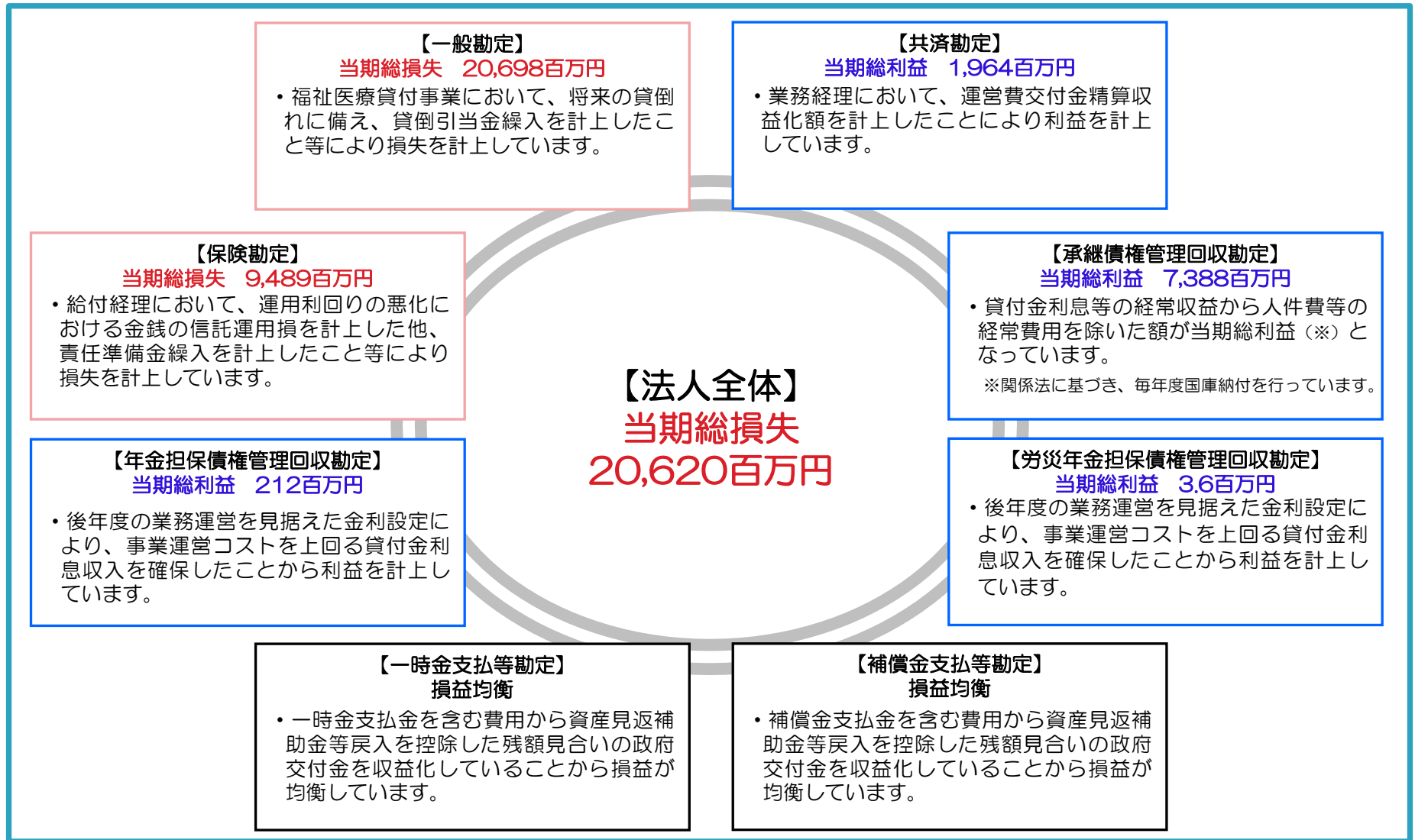
引当金と政府出資金の推移



※令和4年3月末から、リスク管理債権区分の見直しを行っております。

3. 令和4年度決算の概要について

(詳細は別冊 令和4事業年度事業報告P53～P58をご覧ください)





当機構の財務内容について（一般勘定・資産の状況）

◆ 資産の部 ◆

【ポイント①】 流動資産及び固定資産に計上している貸付金（1年以内回収予定長期貸付金及び長期貸付金等）**5,296,136百万円**が資産全体の大半を占めています。なお、貸付金は、新型コロナウイルス対応支援資金への対応等により、前年度に比べ75,966百万円増加しています。

◆ 負債の部 ◆

【ポイント②】 貸付原資となる借入金**4,878,238百万円**及び福祉医療機構債券**230,000百万円**を計上しており、負債全体（**5,117,476百万円**）の**99.8%**を占めています。なお、借入金及び福祉医療機構債券は、新型コロナウイルス対応支援資金への対応等により、前年度に比べ73,684百万円増加しています。

◆ 純資産の部 ◆

【ポイント③】 福祉医療貸付事業に係る貸倒引当金繰入等により当期総損失20,698百万円を計上したことから繰越欠損金39,543百万円を計上し、純資産は**120,287百万円**となっています。

（単位：百万円）

科目	令和3年度末	令和4年度末	差額
資産	5,185,328	5,237,762	52,434
I 流動資産	294,205	298,762	4,557
現金及び預金	5,941	7,072	1,131
1年以内回収予定長期貸付金	283,538	287,104	3,566
貸倒引当金	△ 143	△ 215	△ 72
その他	4,868	4,802	△ 66
II 固定資産	4,891,124	4,939,000	47,876
有形固定資産	562	424	△ 138
無形固定資産	1,105	1,937	832
長期貸付金等	4,936,632	5,009,032	72,400
貸倒引当金	△ 50,111	△ 75,419	△ 25,308
その他	2,936	3,027	91

科目	令和3年度末	令和4年度末	差額
負債	5,044,344	5,117,476	73,132
I 流動負債	281,879	262,309	△ 19,570
運営費交付金債務	565	—	△ 565
預り補助金等	35	73	38
預り寄附金	202	232	30
1年以内償還予定福祉医療機構債券	27,000	15,000	△ 12,000
1年以内返済予定長期借入金	249,281	242,493	△ 6,788
その他	4,796	4,511	△ 285
II 固定負債	4,762,465	4,855,167	92,702
長期預り寄附金	436	406	△ 30
福祉医療機構債券	210,000	215,000	5,000
長期借入金	4,548,273	4,635,745	87,472
その他	3,756	4,016	260
純資産	140,985	120,287	△ 20,698
I 資本金	160,605	160,605	—
II 資本剰余金	△ 775	△ 775	△ 0
III 繰越欠損金	△ 18,845	△ 39,543	△ 20,698

（注）百万円未満を四捨五入していますので、合計とは端数において合致しないものがあります。

ポイント③



当機構の財務内容について（一般勘定・損益の状況）

◆ 当期総損失 ◆

【ポイント】 当期総損失**20,698百万円**を計上した主な要因は次の通りです。

- 通常融資・新型コロナウイルス対応支援資金による損失・・・△ 19,493百万円
- 東日本大震災に係る復旧・復興のための優遇融資等による損失・・・△ 679百万円
- 事務費（システム関連経費等）の執行等による損失・・・△ 527百万円

科目	令和3年度	令和4年度	差額
経常費用	62,487	58,728	△ 3,759
福祉医療貸付業務費	59,412	54,724	△ 4,688
（うち借入金利息）	(25,508)	(24,117)	(△ 1,391)
（うち債券利息）	(1,692)	(1,383)	(△ 309)
（うち貸倒引当金繰入）	(29,686)	(26,228)	(△ 3,458)
経営指導業務費	475	448	△ 27
福祉保健医療情報サービス業務費	949	1,167	218
社会福祉振興助成業務費	810	1,456	646
一般管理費	838	929	91
雑損	2	3	1

経常収益	40,547	37,833	△ 2,714
運営費交付金収益	1,612	391	△ 1,221
福祉医療貸付事業収入	33,916	32,405	△ 1,511
経営指導事業収入	21	30	9
福祉保健医療情報サービス事業収入	4	6	2
社会福祉振興助成事業収入	11	12	1
補助金等収益	3,988	3,896	△ 92
寄附金収益	147	202	55
その他	848	890	42

（注）百万円未満を四捨五入していますので、合計とは端数において合致しないものがあります。

（単位：百万円）

科目	令和3年度	令和4年度	差額
経常損失	21,939	20,895	△ 1,044
臨時利益	0	197	197
貸倒引当金戻入益	0	0	0
運営費交付金精算収益化額	—	197	197
当期純損失	21,939	20,698	△ 1,241
当期総損失	21,939	20,698	△ 1,241

○ 法人単位

● 貸借対照表（令和5年3月31日）

（単位：百万円）

科目	令和3年度末	令和4年度末	差額
資産	5,650,883	5,627,749	△ 23,134
I 流動資産	524,476	503,729	△ 20,747
現金及び預金	106,996	89,135	△ 17,861
金銭の信託	72,217	69,425	△ 2,792
有価証券	6,600	14,800	8,200
1年以内回収予定長期貸付金	333,381	325,132	△ 8,249
未収財源措置予定額	—	233	233
貸倒引当金	△ 149	△ 223	△ 74
賞与引当金見返	175	181	6
その他	5,256	5,046	△ 210
II 固定資産	5,126,408	5,124,020	△ 2,388
有形固定資産	773	579	△ 194
無形固定資産	1,185	2,115	930
長期貸付金等	5,172,314	5,194,280	21,966
貸倒引当金	△ 51,132	△ 76,329	△ 25,197
退職給付引当金見返	2,502	2,608	106
その他	766	766	△ 0

科目	令和3年度末	令和4年度末	差額
負債	5,208,901	5,263,377	54,476
I 流動負債	308,072	275,573	△ 32,499
運営費交付金債務	565	—	△ 565
預り補助金等	1,372	74	△ 1,298
預り寄附金	202	232	30
1年以内償還予定福祉医療機構債券	41,000	22,000	△ 19,000
1年以内返済予定長期借入金	258,911	247,743	△ 11,168
賞与引当金	210	213	3
その他	5,812	5,311	△ 501
II 固定負債	4,785,548	4,870,411	84,863
長期預り補助金等	14,558	13,768	△ 790
長期預り寄附金	436	406	△ 30
福祉医療機構債券	217,000	215,000	△ 2,000
長期借入金	4,548,273	4,635,745	87,472
退職給付引当金	3,166	3,202	36
抵当権移転登記引当金	342	325	△ 17
その他	1,773	1,966	193
III 法令に基づく引当金等	115,282	117,393	2,111
退職手当給付費支払資金	52,468	47,883	△ 4,585
心身障害者扶養保険責任準備金	62,814	69,510	6,696
純資産	441,982	364,372	△ 77,610
I 資本金	442,500	394,577	△ 47,923
II 資本剰余金	△ 798	△ 798	△ 0
III 利益剰余金又は繰越欠損金（△）	281	△ 29,406	△ 29,687

（注）百万円未満を四捨五入していますので、合計とは端数において合致しないものがあります。

当機構の財務内容（法人単位・損益の状況）

○ 法人単位

● 損益計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位：百万円）

科目	令和3年度	令和4年度	差額	科目	令和3年度	令和4年度	差額
経常費用	203,560	207,728	4,168	経常収益	191,417	186,936	△ 4,481
福祉医療貸付業務費	59,412	54,724	△ 4,688	運営費交付金収益	2,292	1,080	△ 1,212
経営指導業務費	475	448	△ 27	福祉医療貸付事業収入	33,916	32,405	△ 1,511
福祉保健医療情報サービス業務費	949	1,167	218	経営指導事業収入	21	30	9
社会福祉振興助成業務費	810	1,456	646	福祉保健医療情報サービス事業収入	4	6	2
退職手当共済業務費	115,641	124,191	8,550	社会福祉振興助成事業収入	11	12	1
心身障害者扶養保険業務費	21,804	22,347	543	退職手当共済事業収入	66,709	67,630	921
承継債権管理回収業務費	1,082	1,011	△ 71	心身障害者扶養保険事業収入	20,393	19,475	△ 918
年金担保債権管理回収業務費	808	374	△ 434	承継債権管理回収業務収入	10,149	8,440	△ 1,709
労災年金担保債権管理回収業務費	15	8	△ 7	年金担保債権管理回収業務収入	868	608	△ 260
一時金支払等業務費	309	223	△ 86	労災年金担保債権管理回収業務収入	16	11	△ 5
補償金支払等業務費	1,100	553	△ 547	補助金等収益	55,915	55,807	△ 108
一般管理費	1,152	1,223	71	財源措置予定額収益	—	233	233
雑損	2	3	1	寄附金収益	147	202	55
経常損失	12,143	20,792	8,649	賞与引当金見返に係る収益	175	181	6
臨時損失	3,233	6,740	3,507	退職給付引当金見返に係る収益	207	318	111
退職手当給付費支払資金繰入	3,233	43	△ 3,190	その他	593	499	△ 94
心身障害者扶養保険責任準備金繰入	—	6,697	6,697	臨時利益	4,392	6,883	2,491
当期純損失	10,985	20,649	9,664	貸倒引当金戻入益	63	57	△ 6
前中期目標期間繰越積立金取崩額	3	29	26	退職手当給付費支払資金戻入益	1,134	4,629	3,495
当期総損失	10,982	20,620	9,638	心身障害者扶養保険責任準備金戻入益	3,194	—	△ 3,194
				抵当権移転登記引当金戻入益	1	0	△ 1
				運営費交付金精算収益化額	—	2,198	2,198

（注）百万円未満を四捨五入していますので、合計とは端数において合致しないものがあります。

4. 福祉医療機構債券（財投機関債）の 概要について

定例性の高い起債

- 投資家の皆様が起債を予見しやすいよう定例的に6月及び12月での起債としています。

安定的に高い安全性

- R&I（格付投資情報センター）：AA+（安定的）

BISリスク・ウエイト

- BISリスク・ウエイトは、政府関係機関（特別の法律に基づき設立された法人）として、10%（標準的手法）となります。

リスクウエイト

一般担保

大口信用制

	リスクウエイト	一般担保	大口信用制
WAM債券	10%	○	○
地方債	0%	×	○
銀行債	20%	×	×
社債	20%	△ (電力/NTT等)	×

一般担保付

- 機構の社債権者は、機構の財産について他の債権者に先立って自己の債権の弁済を受ける権利を有します。

独立行政法人福祉医療機構法（抜粋）

（長期借入金及び独立行政法人福祉医療機構債券）

- 第十七条** 機構は、第十二条第一項第一号から第三号まで、第五号、第六号及び第十二号に掲げる業務に必要な費用に充てるため、厚生労働大臣の認可を受けて、長期借入金をし、又は独立行政法人福祉医療機構債券（以下「債券」という。）を発行することができる。
- 2 前項の規定による債券（当該債券に係る債権が第十九条の規定に基づき信託された貸付債権により担保されているものを除く。）の債権者は、機構の財産について他の債権者に先立って自己の債権の弁済を受ける権利を有する。
 - 3 前項の先取特権の順位は、民法（明治二十九年法律第八十九号）の規定による一般の先取特権に次ぐものとする。

大口信用供与等規制の対象外

- 平成26年12月1日に施行された大口信用供与等規制の厳格化に伴い、公募社債等が新たに当該規制の適用対象となったものの、銀行法上の除外規定（※）により、WAM債券は適用対象外となりました。
※銀行法第13条第3項第1号、銀行法施行令第4条第13項第2号

厚生労働大臣の発行認可

- 財投機関債発行の都度、厚生労働大臣の認可（財務大臣との協議）を受けています。

○ 直近の福祉医療機構債券の発行実績

回号	条件決定日	発行日	年限 (年)	総額 (億円)	表面利率 (%)	発行価格 (円)	応募者利回り (%)	対国債 スプレッド 【カーブ対比】 (bp)	格付
第64回	令和3年6月10日	令和3年6月18日	10	100	0.130	100.00	0.130	7.0 【6.0】	AA+ (R&I)
第65回	令和3年12月10日	令和3年12月20日	10	100	0.120	100.00	0.120	7.5 【6.0】	AA+ (R&I)
第66回	令和4年6月10日	令和4年6月20日	10	100	0.319	100.00	0.319	7.0 【6.0】	AA+ (R&I)
第67回	令和4年12月9日	令和4年12月20日	10	100	0.574	100.00	0.574	32.5 【31.0】	AA+ (R&I)
第68回	令和5年6月9日	令和5年6月20日	10	100	0.681	100.00	0.681	25.0 【25.0】	AA+ (R&I)

○ 令和5年度下期の発行予定について

- 10年債【一般勘定】100億円 12月初旬 (予定)
福祉医療貸付事業に充当するソーシャルボンドを発行予定
 - 最終的な発行金額・発行時期等につきましては、資金需要や市場環境等を踏まえながら決定いたします。
 - 起債に関する詳細な情報は当機構ホームページにて随時お知らせしております。
(ホームページアドレス <https://www.wam.go.jp/hp/cat/tosikajoho/>)

福祉医療機構は、福祉の基盤整備・医療サービスの提供の観点から持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）に貢献しています

福祉・医療が抱える課題

待機児童問題、特養待機者問題、医療需要の増大、福祉サービス提供に係る課題の複合化・複雑化、地域のつながりの希薄化、これらに対応する社会資源の一元的かつ正確な情報の不足等が存在

⇒『小回りのきく福祉・医療支援の専門店』としての一層の機能発揮により、福祉・医療基盤の整備に貢献

SDGs（Sustainable Development Goals）とは

SDGs = 持続可能な開発目標

- 2015年9月に国連に加盟する全ての加盟国が合意し採択
- 2030年までに貧困撲滅や格差の是正、気候変動対策など国際社会に共通する17の目標が達成されることを目指すもの。

SDGsの観点で当機構が福祉・医療に果たす役割

「福祉貸付事業」

- 民間社会福祉事業施設などの整備、充実

「医療貸付事業」

- 良質な医療・介護サービスの提供を支援

「心身障害者扶養保険事業」

- 障害のある方に、将来の安心と保障を提供

「社会福祉振興助成事業」

- 高齢者・障害者が自立した生活を送るため、及び子供たちが健やかに安心して成長できるように必要な支援

（SDGsの目標1）あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



（SDGsの目標3）あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



（SDGsの目標5）ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う





○当機構は、ICMA（国際資本市場協会）が定めるソーシャルボンド原則の4つの核（下記1～4）となる要素に基づきソーシャルボンド・フレームワークを策定。本フレームワークについて、2021年9月27日に外部評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からソーシャルボンド原則（SBP）に適合している旨のセカンドオピニオンを取得しました。

1. 調達資金の使途

○当機構がソーシャルボンドで調達した資金は、福祉医療貸付事業（=ソーシャルプロジェクト）に充当され、我が国が抱える社会的課題の解決に貢献します。

ソーシャルプロジェクトのご紹介（一例）

適格 クライテリア	プロジェクト概要	SBPの事業区分	対象となる人々
福祉医療 貸付事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別養護老人ホーム、保育所などの福祉施設や病院、診療所などの医療施設等の整備に必要な資金等の融資 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要不可欠なサービスへのアクセス ○ 社会経済的向上とエンパワーメント 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者、障害者、仕事と子育て・介護を両立する人々、医療サービスを必要とする人々、サービス提供者である施設の従事者等



福祉貸付事業（生活介護事業所）



医療貸付事業（病院）

2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

○業務運営に関する中期目標は厚生労働大臣から示され、これを達成するための中期計画及び年度計画について、厚生労働大臣の認可及び届出により決定します。なお、貸付先については、厚生労働大臣が認可する業務方法書等に基づき、判断しています。

3. 調達資金の管理

○独立行政法人福祉医療機構会計規程第4条及び第5条に基づく区分経理により、ソーシャルボンドにより調達された資金は、福祉医療貸付事業に充当し区分管理します。福祉医療貸付事業は「一般勘定」として他の勘定と経理区分した上、帳簿上での管理を行い「一般勘定」における他の事業と区分します。また、年に一回、ソーシャルボンドの発行残高の総額が直近期末の福祉医療貸付事業における貸付金残高を上回っていないことを確認します。

4. レポートニング

○ソーシャルボンドの調達資金の充当状況及びインパクト状況（適格ソーシャルプロジェクトにより実現した社会的な効果等）については、当機構のHPで年に一回公表しております。

レポーティングについて①

○ WAMソーシャルボンドの発行実績

回号	条件決定日	発行日	年限 (年)	総額 (億円)	表面利率 (%)	発行価格 (円)	応募者利回り (%)	対国債 スプレッド 【カーブ対比】 (bp)	格付
第66回	令和4年6月10日	令和4年6月20日	10	100	0.319	100.00	0.319	7.0 【6.0】	AA+ (R&I)
第67回	令和4年12月9日	令和4年12月20日	10	100	0.574	100.00	0.574	32.5 【31.0】	AA+ (R&I)

(参考) 令和5年上期発行実績

第68回	令和5年6月9日	令和5年6月20日	10	100	0.681	100.00	0.681	25.0 【25.0】	AA+ (R&I)
------	----------	-----------	----	-----	-------	--------	-------	----------------	-----------

○ 資金調達の充当状況

- 当機構がソーシャルボンドで調達した資金は、全額福祉医療貸付事業に充当します。当事業は、我が国が抱える社会的課題の解決に貢献しています。

項目	令和4年度	(参考) 令和5年度
ソーシャルファイナンスの残高	200億円	100億円 (令和5年6月末現在)
充当済金額	200億円	100億円 (令和5年6月末現在)
未充当資金の残高	0円	0円
リファイナンス比率	0%	0%

○ 調達資金の管理 (WAMソーシャルボンドの発行残高及び貸付金残高)

- WAMソーシャルボンド発行残高が直近期末の貸付金残高を上回っていないことを確認しています。 ((a) < (b))

項目	令和4年度末
発行残高 (a)	200億円
貸付金残高 (b) ※	5兆2,961億円

※貸借対照表上の長期貸付金額。貸付受入金を除くもの。

レポーティングについて②

○ インパクトレポート（第66回債・第67回債・令和4年度）

ソーシャルプロジェクト（福祉医療貸付事業）に対するファイナンス（資金調達）

アウトプット/アウトカム指標（令和4年度）

融資総額 **3,867** 億円 融資件数 **6,557** 件

財政融資資金借入金	財投機関債（第66回債・第67回債）	その他（自己資金等）	合計
3,662億円	200億円	5億円	3,867億円

インパクト指標（定性目標）

病院等

1,306 億円

地域医療提供体制整備のための
施設整備

介護福祉施設等

1,254 億円

介護基盤・待機児童解消・
障害者の生活の安定のための
施設整備

経営支援

1,307 億円

福祉医療施設の
安定的な経営の支援（コロナ融資等）

○ 福祉医療貸付事業による社会的便益※

過去10年間（平成24～令和3年度）における貸付事業の成果



1

福祉貸付事業においては、
民間の社会福祉施設が施設数で8千施設、
定員で41万人分の整備が図られた。

老人福祉施設



14.3 万人 (70.9万人)

障害福祉施設



2.4 万人 (13.6万人)

児童福祉施設



24.2 万人 (223.9万人)

2

医療貸付事業においては、医療関係施設
4百施設の新設、6百施設の増改築が行われ、
病床等の整備が図られた。

介護老人保健施設



1.6 万人 (36.2万人)

病院



0.7 万床 (115.8万床)

※政策コスト分析を基に算出

(注) () 書は令和3年10月現在の民間社会福祉施設等の定員である。

- 独立行政法人通則法第32条に基づき、毎事業年度、業務の実績について、厚生労働大臣から評価を受けています。
- 毎事業年度、財務諸表、事業報告書等を作成し、厚生労働大臣の承認を受けています。
- 財務諸表、事業報告書等は、当機構ウェブサイトにて公開します。

1. 業務全般

- 中期目標・中期計画・年度計画 <https://www.wam.go.jp/hp/koukai-tabid-63/koukai-keikaku-tabid-117/>
- 業務方法書等 <https://www.wam.go.jp/hp/koukai-tabid-63/koukai-rule-tabid-116/>

2. 事業状況

- 事業報告書 <https://www.wam.go.jp/hp/koukai-tabid-63/koukai-houkoku-tabid-110/>
- 業務実績の評価結果 <https://www.wam.go.jp/hp/koukai-tabid-63/koukai-jisseki-tabid-118/>

3. 財務状況

- 財務諸表・決算報告書 <https://www.wam.go.jp/hp/koukai-tabid-63/koukai-zaimu/>

4. 調達資金の充当状況及びインパクト状況

- ウェブサイトで年に一回公表 https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/2023_impactreport.pdf

5. 投資家向けIR資料

- 投資家向けIR資料 https://www.wam.go.jp/content/files/pcpub/top/investor/investor_h004.pdf

5. ご 参 考



令和6年度予算要求 貸付事業計画の概要

【一般勘定】

(単位：億円)

区 分		4年度	5年度	6年度		
		予算額	予算額	要求額	対前年度(予算額)	
					増△減額	伸び率 (%)
福祉貸付	貸付契約額	4,374	1,888	1,317	△ 571	△ 30.2
	資金交付額	4,586	1,734	1,454	△ 280	△ 16.1
医療貸付	貸付契約額	4,312	1,413	1,137	△ 276	△ 19.5
	資金交付額	4,186	1,441	1,061	△ 380	△ 26.4
合 計	貸付契約額	8,686	3,301	2,454	△ 847	△ 25.7
	資金交付額	8,772	3,175	2,515	△ 660	△ 20.8
	財政融資資金借入金	8,565	2,642	2,102	△ 540	△ 20.4
	自己資金	207	533	413	△ 120	△ 22.5
	(うち福祉医療機構債券)	(200)	(200)	(200)	(0)	(0.0)



令和6年度予算要求 国庫補助金等の概要

(単位：千円)

区 分	4年度		5年度	6年度		
	当初予算額	変更後予算額	当初予算額	要求額	対前年度（当初予算額）	
					増△減額	伸び率（%）
一般勘定	4,268,904	5,108,976	5,923,505	6,393,733	470,228	7.9
運営費交付金	889,691	1,086,591	2,374,626	2,826,264	451,638	19.0
社会福祉振興助成費補助金	607,699	1,250,871	607,699	607,699	0	0.0
障害者総合支援事業費補助金	-	-	-	-	-	-
子ども・子育て支援事業費補助金	66,000	66,000	235,666	254,256	18,590	7.9
利子補給金	2,705,514	2,705,514	2,705,514	2,705,514	0	0.0
共済勘定	27,103,373	29,104,428	28,061,891	28,955,804	893,913	3.2
運営費交付金	731,856	2,732,911	684,301	684,280	△ 21	△ 0.0
給付費補助金	26,371,517	26,371,517	27,377,590	28,271,524	893,934	3.3
保険勘定						
運営費交付金	104,289	104,289	104,050	116,834	12,784	12.3
合 計	31,476,566	34,317,693	34,089,446	35,466,371	1,376,925	4.0